

アツいぞ四国・関西!

# 徳島絶版バイクミーティング

第4回 4月16日・沖州マリンターミナル



春が来て暖くなると、心はウキウキ。それに合わせるように全国各地でミーティングが開催されております! その中で春先の催しとして毎回四国・関西方面の絶版車乗りが数多く集まるのがこれ!

撮影●西田まさし/鈴木広一郎  
 協力●BRC (<http://www.brcinc.co.jp>)



会場入り口にはスタッフが配置され来場者を誘導、混乱なくスムーズに皆さん駐車して頂きました。さすが!

メインステージの前の駐車スペースの他に、生け花を備えてさらに駐車スペースがあり、故郷にアクセスを導く導音も聞こえ、静やかな声がかたまるのであります。



**春** 先になつてあちこちでツーリングしているライダーを見かけるけれど、バイクは現行車ばかり? ... そんな事はない! と実感出来るほど、当日の会場には沢山の絶版車ライダーが集結したのであります。

場所は徳島県の沖州マリンターミナル。大阪、兵庫県側からももちろん四国内からもアクセスしやすく、ツーリングを兼ねて来場した方も多数。第4回目を迎えるこの「徳島絶版ミーティング」はご存じ四国の絶版バイク部品専門店・BRCさんが主催。昨年からは同社が主催するもう一つの「西日本コンフォアミーティング」と合体。よりいろいろなバイク乗りが集まってもらい、いっそう楽しんで買いたいという主旨なのです。

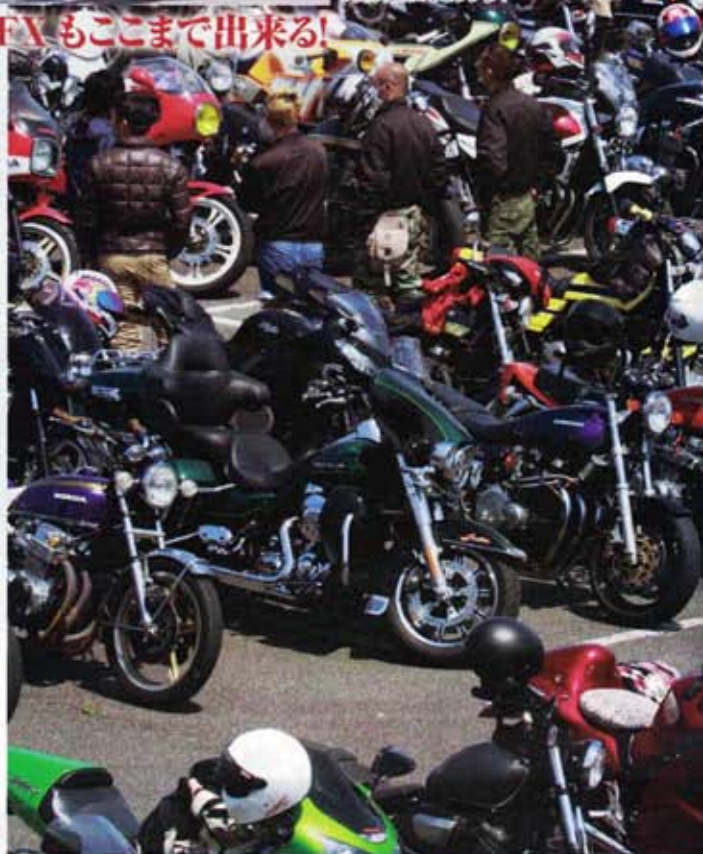
今やこのミーティングはすっかりお馴染みとなったようで、今回も来場者数は多数。午前11時からイベント開始に合わせて続々と来場する様子は、とてもスムーズでありました。ブースを出展した各社はさらに増え、それぞれの特徴をアピール。出展車両やパーツに皆さん注目。そして記念撮影、恒例のエキストラムショーで大いに盛り上がり、カスタムコンテスト、ジャンケン大会で再び盛り上がりつつ閉幕となりました。来場の皆さんの帰路を考え、終了時間は15時と早め。ライダーのこと、分かってらっしゃいます。絶版車への情熱は全く衰えない、ですね。来年の開催も楽しみです!



ヨンフォアもFXもここまで出来る!



2000ccのエンジンを搭載したスーパーバイクに挑戦するライダー。そのパフォーマンスは、観客を驚かせた。また、会場には多くの改装バイクが展示され、注目を集めた。



## 有数各社によるブース出展



「明らかに期待しないと思われる改造仕様車以外は、入場OK」と告知していて、会場には様々な形式、タイプのバイクが集結。人気地味車ももちろん、現行車、激レア車と見るだけでも楽しくなっています。今回は来場バイクの中からコンテストとして各賞を選出。魅力的な車両が沢山あって、道半ばとしてはもう大満足。注目どころとしては、激改造の750ターボやGS1000、ヤマハの外装を纏ったCB-F、オプションのピキニカトルを装着したピカピカのXJ400などなど。



カスタムショップ、パーツメーカー、取扱店他が多数出展。関西・四国エリアからはもちろん、関東からの遠征組も！ 出展企業は以下のとおりです(写真は上右から左へ順に)、アゲイン、カスタム(ラノビア、スキャン)、JOKER'S、FLYING GEAR、Zレーシングパーツ、PMC、エムテックキキ、DEEP FIELD、NGU Auto、テクニカルサービス本多、MARVELOUS ENGINEERING、キョクトー、Snap-on、カスタムペイント次男坊、works HAUNT、ワンボックス、BRC。

## シメも大盛り上がり!



ラストはおなじみのジャンケン大会。出展各社から豪華賞品が用意され、勝ち上がってグットした人はこの笑顔。メインMCはワダボリスさんと大塚亜美さんです!



## 選ぶのホント大変でした!



地元車専門各誌によるバイクコンテストを実施。BG賞はSHOEIのフェアリング&ケースを装備のCB750カスタムにお乗りの清川隆利さん(60歳・左)。他、ロードライダー賞(平塚浩二さん)、Gワークスバイク賞(伊藤大三さん)も。



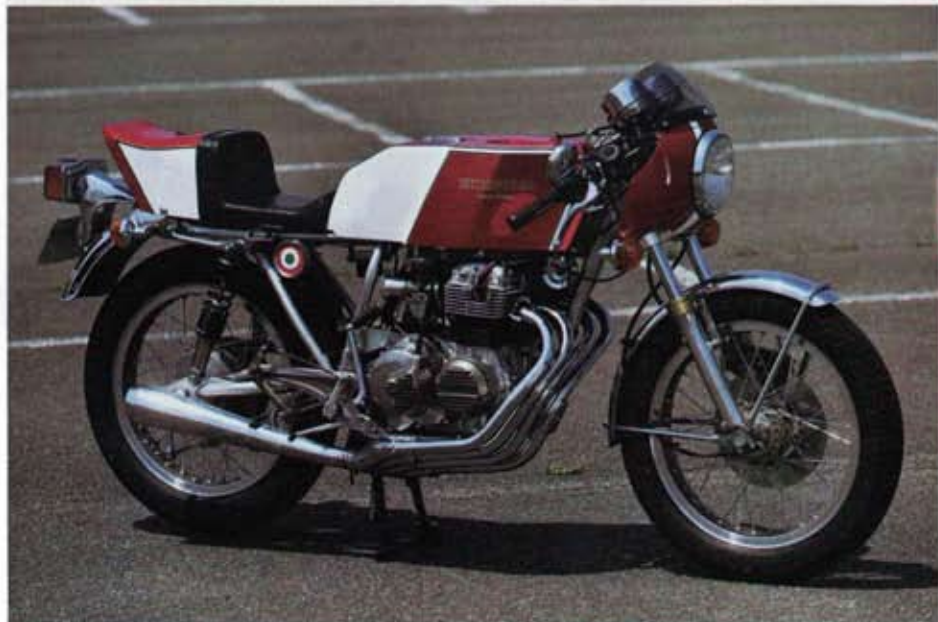
## バイク好きな人を増やしていきたい

第4回目のミーティングも好天のもと大成功となり、笑顔のBRC・渡邊社長です。「皆さん満足して頂けたようでとても嬉しいです。年々ライダーの平均年齢は上がり、若者のバイク離れが懸念されていますが、ライダーが減らないように魅力を伝えて、興味を持つ人を増やしていけたらと思っています。やはりバイクが好きだからこそ、ですね。皆さんの御協力のお陰で続けられています。来年もまた4月末に開催すると思います。よろしくお話し申し上げます」

## 来年も徳島で会いましょう!



# もちろんヨンフォアカスタムも珠玉！



## FLYING GEAR



## イタリアの '70S カフェレーサーをイメージ

角張った外装と白赤、シルバーの塗り分けがとてもカッコイイ、フラインギアのヨンフォア。ヨンフォアの外装を交換する例はこれまでもあったけれど、この姿は初めてと書きたいほど新鮮。実はフューエルタンクとシートカウルは昔のメーニ（イタリア）製CB350FOUR用で、これにモト・グッツィのル・マン用ヘッドライトカバーを装着。そしてアルミリムとセラレートハンドル、ノーマルタイプのマフラーで下廻りをキリリと印象づけ。保安部品は整備に外せてサンデーレースに出られるようになっているそう。エンジンは4500ccにボアアップレハイカムも装着。バッテリーも小型化しています。問店はCB、Z、RZ等の中型車のレストアをメインに、カフェレーサーも製作しているとのこと！  
 フラインギア：徳島県徳島市国府町和田字橋内 161-3 ☎ 089-843-1197



## SCAN



## ルックスはもちろん速さも求める！

70年代ヨンフォア乗りの間で憧れもアイテムだった、船場モーターズのFRP製フューエルタンクとシートカウルを装着。そしてマフラーはフクイレーシング製と、懐かしい6速リアのパーツのオンパレード（アルフィンカバーは現在も購入できるスキャンのオリジナル品）。しかもこのヨンフォアは音圧気だけではなく、リアルな速さも追求。エンジンは軽量のアグイン製ピストンを使い5000ccに。さらにアグイン製ST-2カム、靴式クラッチも入りポートも加工。ミッションは1-2-3速がクロス仕様となっていて、なんとレブリミットは12000rpm。回転の落ち込みもなく一榔に加速。ホイールは前後共モーリスのマグ製で、トップブリッジもTZ用のマグとする事で軽量化。リアショックはマルソッキでフロントブレーキは純正品使いをダブル化。リアはRD用キャリアーを使うなど、この車体の音圧感を弱さすぬかなうパーツで強化しているところがさすが！  
 スキャン：神奈川県横浜市磯区新町 3-28-15 ☎ 045-573-6112 <http://scanshop.web.fc2.com>